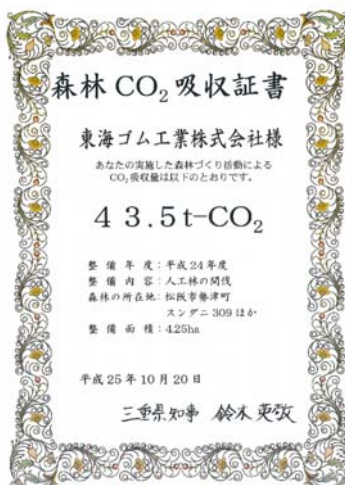


東海ゴム、三重県から「森林 CO₂ 吸収量認証書」 ～社会・地球の調和と発展を目指して～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、三重県松阪市の「東海ゴム松阪の森」での環境保全活動で、三重県から森林 CO₂ 吸収量認証書を交付されましたので、お知らせいたします。



交付式で認証書を受け取った鈴木課長（右から2人目）

当社は2010年8月、三重県「企業の森」事業に賛同し、三重県と松阪市、地元の同市勢津町との間で5年間にわたる森林保全契約を結びました。同市勢津町から預かった人工林（30ha）を「東海ゴム松阪の森」と名付け、地元の松阪飯南森林組合に委託して間伐などの整備を行っており、整備面積や樹齢、樹種などからCO₂吸収量を算出する仕組みです。

今回は、2012年度に整備した4.25haが対象で、43.5t-CO₂を吸収したと認定され、鈴木英敬知事から松阪製作所の鈴木隆・地域環境課長に認証書が手渡されました。

当社は毎年2回、当社従業員らが参加して、「東海ゴム松阪の森」で間伐作業などを通じた地元の方々との交流を行っています。従業員ら約50人は認証書が交付された20日にも、あいにくの雨の中、県や市の職員、地元・勢津町の方々、松阪飯南森林組合の皆様と活動に励みました。

当社グループは、社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に寄与するため、「英知を結集した企業活動を通じて社会に貢献する」との基本理念を定めています。今後も環境への意識を絶やすことなく、地域の皆様の協力を得ながら、自然保護活動に取り組んでまいります。

以上